

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、平成 20 年度の障がい者計画・障がい福祉計画の改定にあたり、各種施策の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の対象と方法

調査地域：春日井市全域

調査対象：身体障がい者 市内在住で 18 歳～64 歳の身体障がい者手帳所持者
知的障がい者 市内在住で 18 歳～64 歳の療育手帳所持者
精神障がい者 市内在住で 18 歳～64 歳の精神障がい者保健福祉手帳所持者
障がい児 18 歳未満の身体障がい者手帳または療育手帳所持者
障がいのない人 市内在住で上記以外の方

調査方法：郵送による配布、回収

調査期間：平成 19 年 12 月 5 日～12 月 25 日

3 回収結果

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	障がい児	障がいのない人
配付数	1, 135 件	465 件	489 件	327 件	650 件
回収数	645 件	249 件	236 件	188 件	260 件
回収率	56. 8%	53. 5%	48. 3%	57. 5%	40. 0%

4 調査結果の表示方法

- ・集計結果の％表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100. 0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100. 0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを 、次いで高い割合のものを  の順で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

1 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児

(1) 回答者の属性

問 この調査に対して、ご本人が判断して回答できますか。どちらかに○をつけてください。また、「できない」と回答した方は、代理の方と本人の続柄などについて、1つだけ○をつけてください。

アンケートの回答については、「できる」の割合は身体障がい者で89.3%、知的障がい者で30.9%、精神障がい者で77.1%となっており、特に知的障がい者で低くなっています。

調査対象者本人が回答できないと答えた人の、本人との続柄については、身体障がい者で「本人の夫・妻」の割合が、知的障がい者、精神障がい者で「親」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

障がい児の回答者については、「親」の割合が最も高く95.7%となっています。

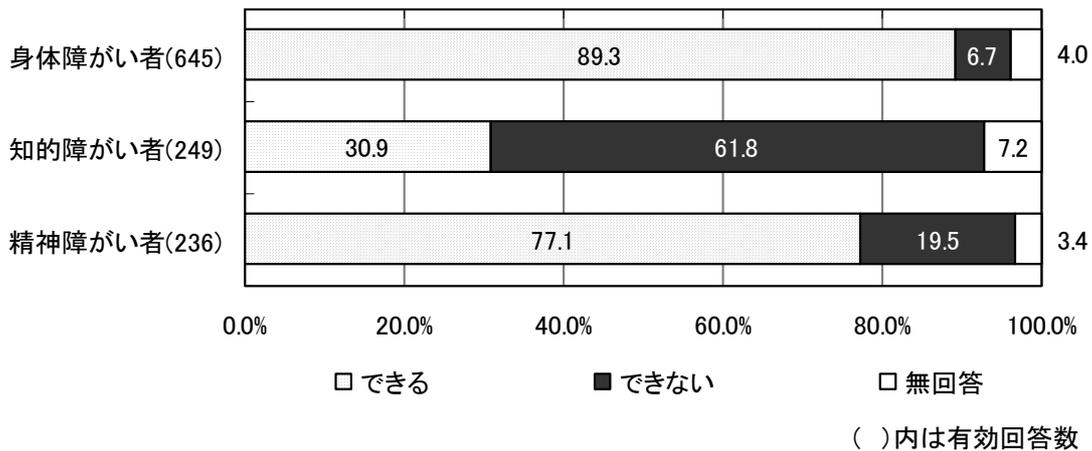


図 アンケートの回答

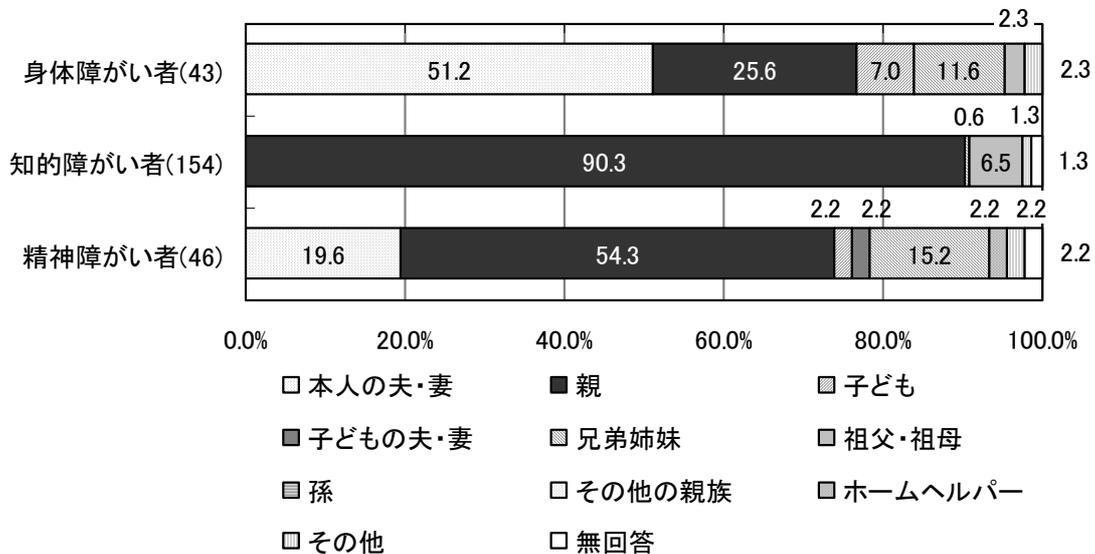


図 本人との続柄

問 あなたの性別について、どちらかに○をつけてください。

性別については、「男性」の割合は身体障がい者で 54.4%、知的障がい者で 60.6%、精神障がい者で 55.1%、障がい児で 66.0%となっています。「女性」の割合は身体障がい者で 45.1%、知的障がい者で 39.0%、精神障がい者で 44.9%、障がい児で 33.0%となっています。

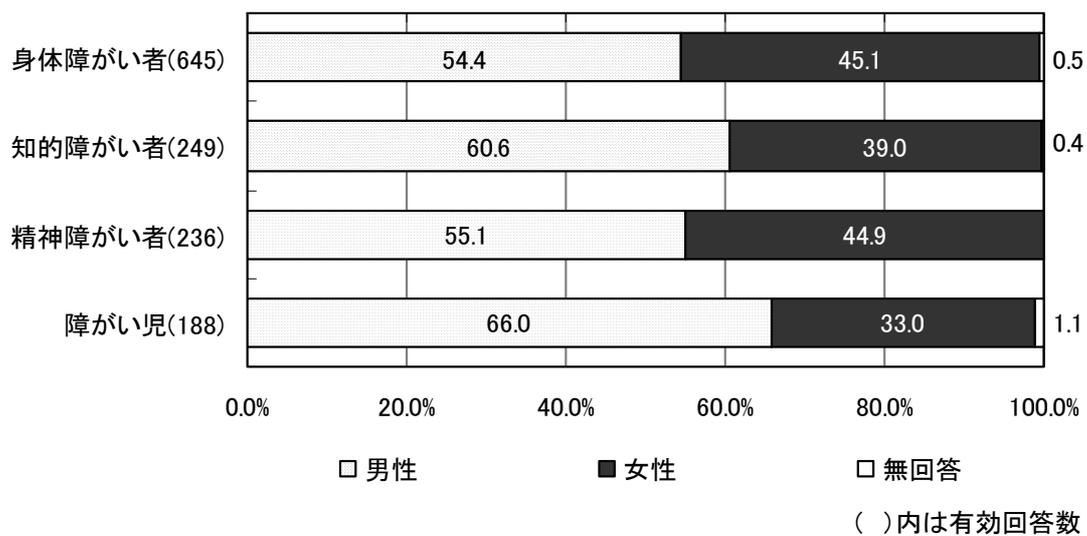


図 性別

問 あなたの年齢を記入してください。(平成19年12月1日現在)

年齢については、身体障がい者で「40～64歳」の割合が72.7%、知的障がい者で「18～39歳」の割合が73.1%、精神障がい者で「40～64歳」の割合が58.9%と、それぞれ最も高くなっています。また、障がい児では、「10～15歳」の割合が最も高く36.2%となっており、次いで「4～9歳」の割合が31.4%、「0～3歳」の割合が15.4%となっています。

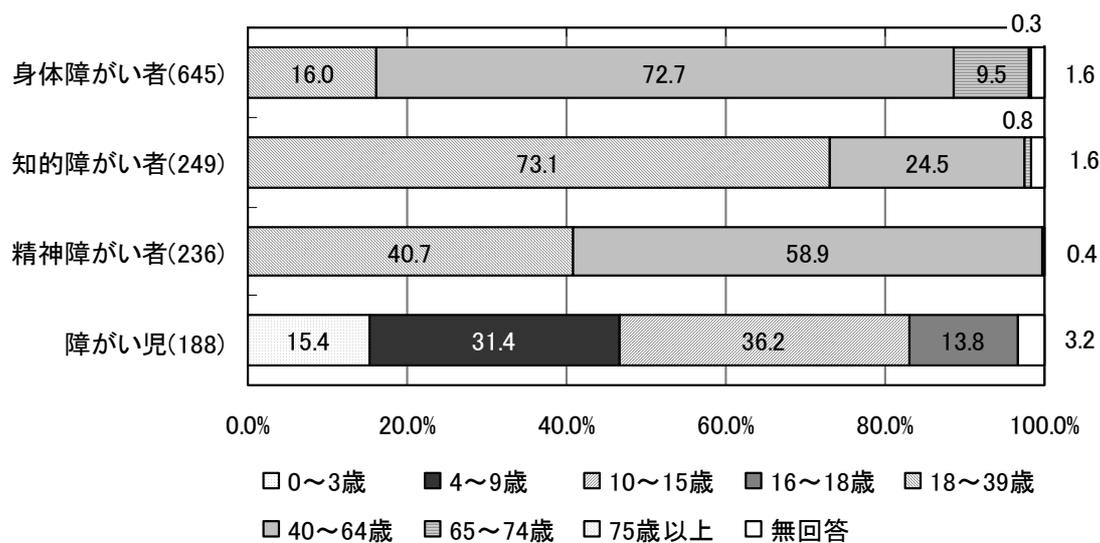


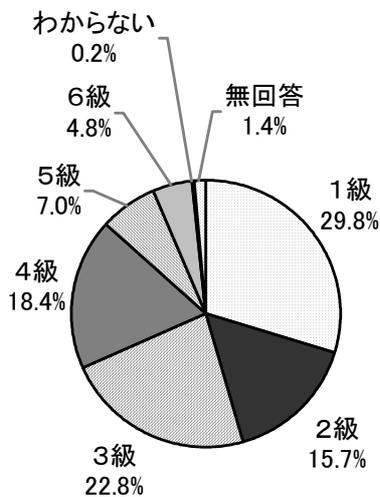
図 年齢 ()内は有効回答数

問 身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の等級は何級ですか。また、療育手帳の判定は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がい者手帳の等級については、「1級」の割合が最も高く29.8%となっており、次いで「3級」の割合が22.8%、「4級」の割合が18.4%となっています。

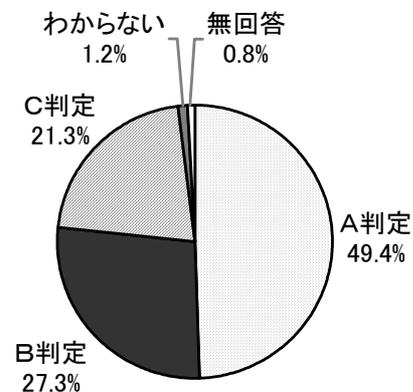
療育手帳の判定については、「A判定」の割合が最も高く49.4%となっており、次いで「B判定」の割合が27.3%、「C判定」の割合が21.3%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳の等級については、「2級」の割合が最も高く62.3%となっており、次いで「3級」の割合が30.9%、「1級」の割合が3.4%となっています。



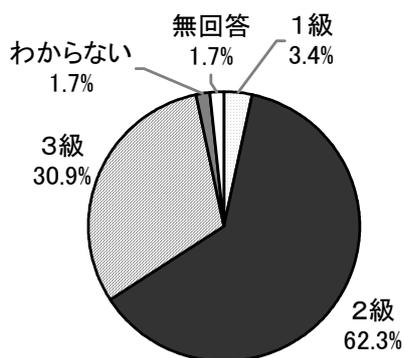
有効回答数: 645件

図 身体障がい者手帳の等級



有効回答数: 249件

図 療育手帳の判定

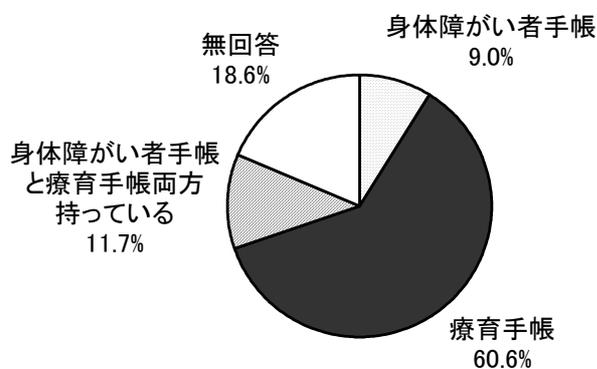


有効回答数: 236件

図 精神障がい者保健福祉手帳の等級

問 あなたが持っている障がい者手帳はなんですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。(障がい児)

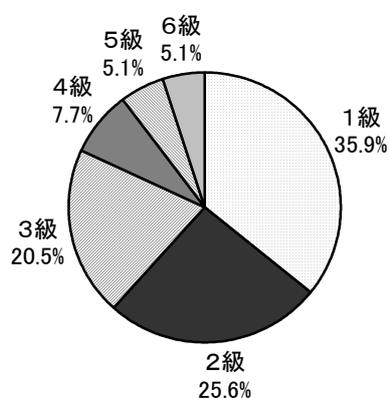
障がい児の手帳の所持状況については、「身体障がい者手帳」の割合が9.0%、「療育手帳」の割合が60.6%、「身体障がい者手帳と療育手帳両方持っている」の割合が11.7%となっています。



有効回答数: 188件

図 手帳の所持状況

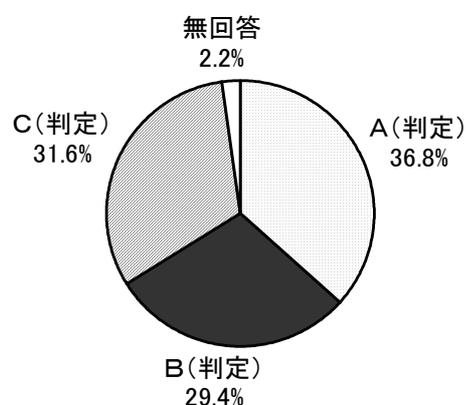
身体障がい者手帳の等級については、「1級」の割合が最も高く35.9%となっており、次いで「2級」の割合が25.6%、「3級」の割合が20.5%となっています。



有効回答数: 39件

図 身体障がい者手帳の等級

療育手帳の判定については、「A (判定)」の割合が36.8%、次いで「B (判定)」の割合が29.4%、「C (判定)」の割合が31.6%となっています。



有効回答数: 136件

図 療育手帳の判定

問 あなたは今どこでくらしていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

住まいの状況については、全体に「自宅（単身、同居も含む）」の割合が最も高く、8割以上となっています。また、他の障がい者に比べ、知的障がい者で「グループホーム・ケアホーム」の割合が、精神障がい者で「医療機関」の割合が高くなっています。



()内は有効回答数

図 住まいの状況

「自宅（単身、同居も含む）」に○をつけられた方にお聞きします。

問 あなたは今、だれと一緒に住んでいますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

同居家族については、身体障がい者では「夫・妻」の割合が 66.4%、知的障がい者、精神障がい者、障がい児で「親」の割合が 5 割以上と、それぞれ最も高くなっています。また、他の障がいに比べ、障がい児で「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。

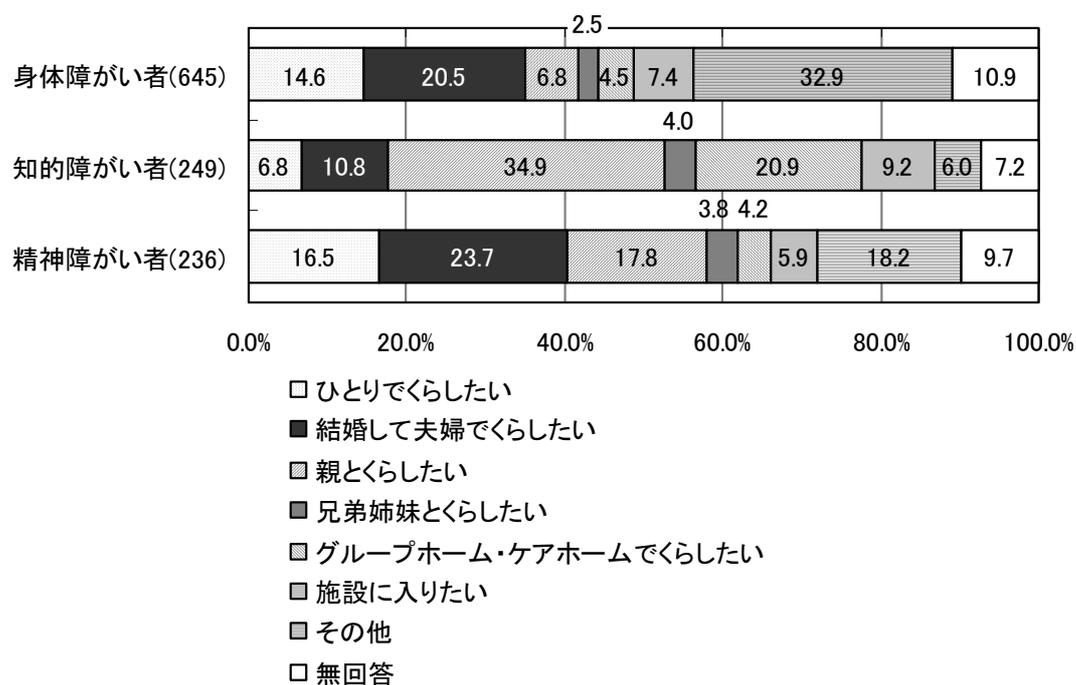
表 同居家族

単位：割合（%）

	有効回答数(件)	ひとりぐらし	夫・妻	親	子ども	兄弟姉妹	祖父・祖母	孫	友だち	その他	無回答
身体障がい者	601	9.7	66.4	23.5	36.9	6.3	1.7	3.7	0.5	1.2	0.0
知的障がい者	213	6.1	2.3	87.8	0.5	38.5	8.9	0.0	0.5	0.9	0.9
精神障がい者	197	15.2	19.3	59.9	14.7	16.2	5.6	0.5	1.0	1.0	0.5
障がい児	177			97.2		67.2	13.6		0.0	2.3	0.6

問 あなたは、将来どのような暮らしをしたいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

将来の暮らしに対する希望については、身体障がい者、精神障がい者では「結婚して夫婦で暮らしたい」の割合が2割以上、知的障がい者では「親と暮らしたい」の割合が34.9%と、それぞれ最も高くなっています。また、身体障がい者、精神障がい者に比べ、知的障がい者で「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」の割合が高くなっています。



()内は有効回答数

図 将来の暮らしに対する希望

(2) 相談についてお聞きします

問 あなたが悩みや困ったことを相談するのはだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

悩みや困ったことを相談するについては、身体障がい者では「友人・知人」の割合が 35.3%、知的障がい者、精神障がい者、障がい児では「親・祖父母」の割合が 5 割以上と、それぞれ最も高くなっています。また、他の障がいに比べ、知的障がい者で「親・祖父母」の割合が 70.7%、精神障がい者で「医師・看護師」の割合が 53.0%と高くなっています。一方で、「相談する相手はいない」「誰にも相談しない」の割合は、全て 1 割未満となっています。

表 悩みや困ったことを相談する人

単位：割合 (%)

	有効回答数 (件)	親・祖父母	兄弟姉妹	友人・知人	会社の人・学校の先生	医師・看護師	ホームヘルパー	福祉施設・作業所の職員	市役所の職員
身体障がい者	645	25.3	31.5	35.3	3.6	25.7	5.0	3.6	9.8
知的障がい者	249	70.7	26.9	11.6	6.4	8.4	5.2	19.7	8.4
精神障がい者	236	55.9	26.7	26.3	1.7	53.0	5.9	8.5	8.9
障がい児	188	68.6	13.3	32.4	21.8	26.6	3.2	6.9	5.9

	民生委員・児童委員	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	障がい者団体	障がい者生活支援センター	専門機関の職員（心身障害者コーナー、児童相談所、保健所など）	その他	相談する相手はいない	誰にも相談しない	無回答
身体障がい者	1.9	3.1	2.5	3.4	1.1	26.5	2.9	5.1	2.3
知的障がい者	1.2	4.0	2.8	11.2	8.8	4.4	0.4	2.0	5.2
精神障がい者	2.5	—	0.8	5.9	3.8	13.6	1.7	0.4	0.8
障がい児	1.1	0.5	2.7	2.7	29.3	6.4	2.7	1.6	3.7

問 あなたは、現在、どのような方法で福祉などの情報を得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

どのような方法で福祉などの情報を得ているかについては、身体障がい者、知的障がい者で「市の広報」の割合が4割以上、精神障がい者で「新聞・雑誌・一般図書」の割合が31.4%、障がい児で「家族・友人」の割合が52.7%と、それぞれ最も高くなっています。一方で、他の障がいに比べ、精神障がい者で「特にない」の割合が高くなっています。

表 福祉情報の入手手段

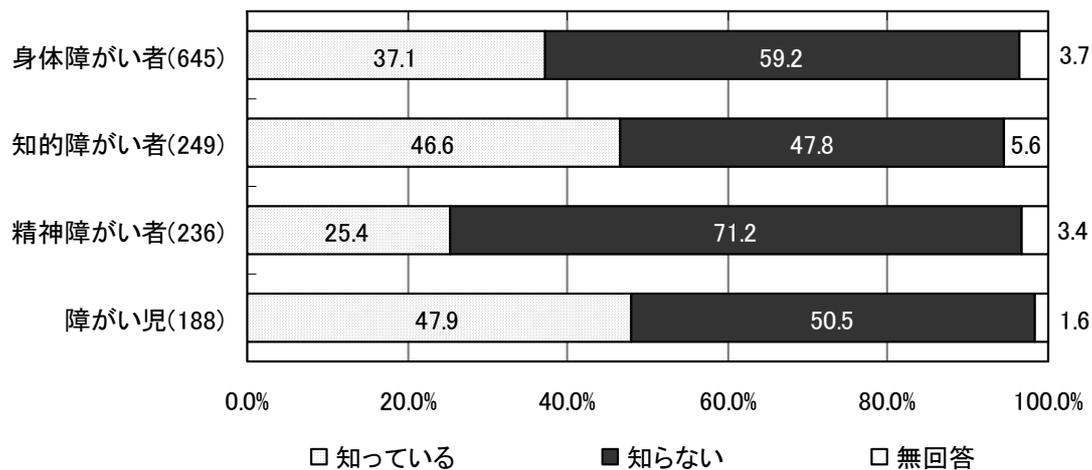
単位：割合（%）

	有効回答数 (件)	新聞・雑誌・ 一般図書	録音・点字図書	ホームページ・ 電子メール	携帯電話	ファックス	テレビ（一般放 送）	手話放送・字幕 放送
身体障がい者	645	42.3	0.8	10.5	1.2	0.3	32.2	1.2
知的障がい者	249	25.3		4.8	0.4	0.4	15.3	
精神障がい者	236	31.4		4.2	0.8	0.0	20.8	
障がい児	188	37.8	0.0	18.6	1.1	0.0	26.6	1.6

	ラジオ	市の広報	町内会・自治会 の回覧板	市・県の福祉サ ービスガイド	家族・友人	その他	特にな い	無回 答
身体障がい者	5.3	51.0	12.9	22.5	18.6	2.8	14.9	1.6
知的障がい者	2.8	43.0	6.8	25.7	28.9	10.0	13.7	7.2
精神障がい者	4.7	28.8	4.2	18.2	23.7	11.4	22.5	1.7
障がい児	2.1	51.1	3.7	33.5	52.7	11.2	6.9	1.6

問 障がい者生活支援センターについて知っていますか。どちらかに○をつけてください。

障がい者生活支援センターの認知状況については、「知っている」の割合が、身体障がい者で 37.1%、知的障がい者で 46.6%、精神障がい者で 25.4%、障がい児で 47.9%となっており、特に精神障がい者で低くなっています。



()内は有効回答数

図 障がい者生活支援センターの認知状況

問 あなたが相談したいと思うことはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

相談したいと思うことについては、全体に「福祉サービスの情報に関すること」の割合が高く、特に障がい児で 51.1%と高くなっています。また、他の障がい者に比べ障がい児で「就労支援・就学に関すること」「成年後見制度や虐待など権利擁護に関すること」の割合が高くなっています。一方で、他の障がい者に比べ、障がい児で「特にない」の割合が 8.5%と低くなっています。

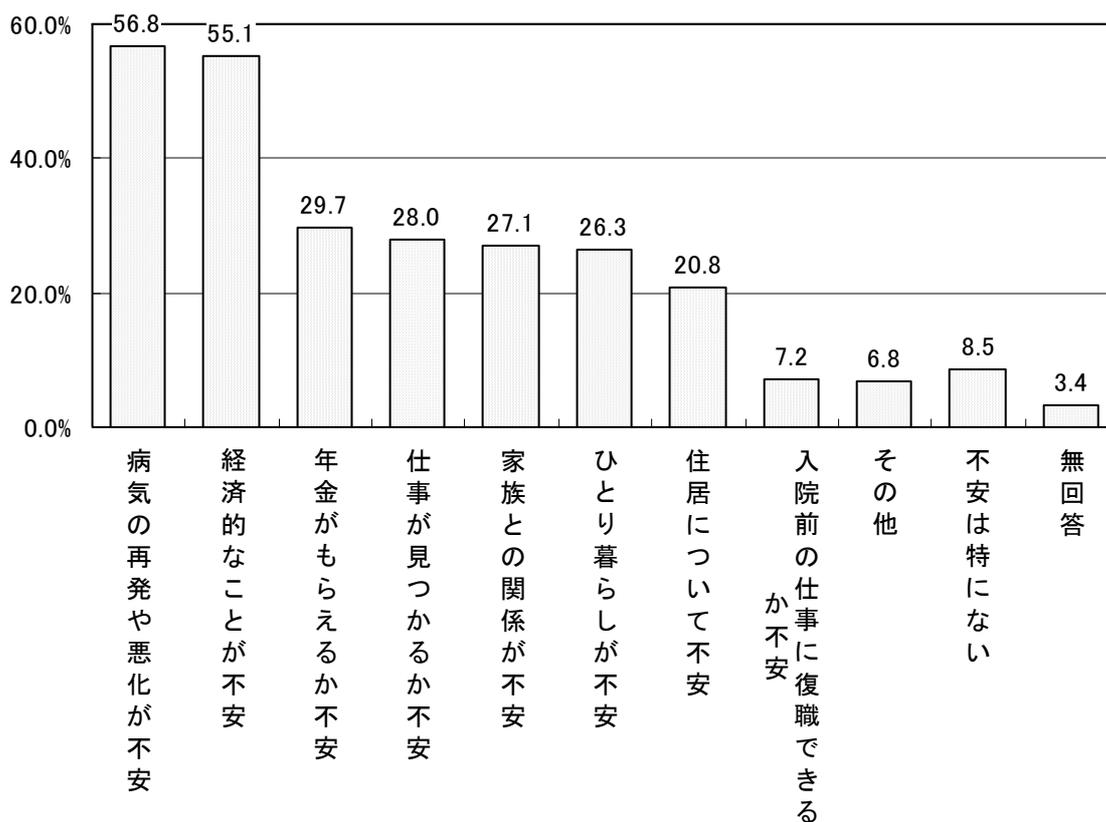
表 相談したいと思うこと

単位：割合（%）

	有効回答数 (件)	日常生活に関する こと	福祉サービスの利 用に関すること	福祉サービスの情 報に関すること	就労支援・就学 に関すること	成年後見制度や 虐待など権利擁 護に関すること	その他	特にな い	無回 答
身体障がい者	645	22.8	30.4	33.5	14.6	2.2	5.1	34.7	2.6
知的障がい者	249	22.5	32.5	28.9	19.3		5.6	25.7	10.4
障がい児	188	34.0	44.7	51.1	49.5	27.7	4.3	8.5	1.1

問 あなたの現在の生活で不安なことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(精神障がい者)

精神障がい者の現在の生活で不安に感じていることについては、「病気の再発や悪化が不安」の割合が最も高く 56.8%となっており、次いで「経済的なことが不安」の割合が 55.1%、「年金がもらえるか不安」の割合が 29.7%となっています。



有効回答数: 236件

図 現在の生活で不安に感じていること

(3) 福祉サービスについて

問 次の福祉サービスのうち、あなたが、現在利用しているサービスはなんですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスの利用状況については、身体障がい者、精神障がい者、障がい児で「利用していない」の割合が最も高く、4割以上となっています。知的障がい者では「知的障がい者授産施設等」の割合が最も高く48.2%となっています。また、障がい児では「児童デイサービス」の割合が37.2%と高くなっています。

等級（判定）別でみると、身体障がい者では障がいの程度が重くなるにつれ「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が高くなる傾向がみられます。知的障がい者では、他の判定に比べA判定で「移動支援（ガイドヘルプ）」の割合が高くなっています。

表 福祉サービスの利用状況

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	居宅介護（ホームヘルプ）	生活介護	児童デイサービス	短期入所（ショートステイ）	就労移行支援	自立訓練（機能訓練）	就労継続支援	訪問入浴サービス	移動支援（ガイドヘルプ）	日中一時支援
身体障がい者	645	9.5	4.3	0.2	1.9	0.3	2.9	0.9	2.0	2.5	0.3
知的障がい者	249	8.8	10.8	1.2	14.9	2.0	2.0	7.6	1.6	16.1	4.4
精神障がい者	236	9.3	3.4	0.0	0.4	0.8	0.8	0.0		0.0	1.3
障がい児	188	5.9	0.0	37.2	12.2	0.5	3.2	1.1	0.5	18.1	6.9

	地域活動支援センター	デイケア・ナイトケア	身体障がい者療護施設	知的障がい者更生施設	知的障がい者授産施設等	小規模保護作業所	その他	利用していない	わからない	無回答
身体障がい者	0.8		1.9				5.0	76.6	1.4	2.3
知的障がい者	6.4			8.8	48.2		7.2	10.8	0.8	1.6
精神障がい者	0.4	8.5				6.8	8.1	51.7	8.1	7.2
障がい児	0.5						2.7	43.6	1.6	1.6

表 等級別にみた福祉サービスの利用状況<身体障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	児童 デイサービス	短期 入所(ショートステイ)	就労 移行支援	自立 訓練(機能訓練)	就労 継続支援	訪問 入浴サービス
1級	192	13.5	5.7	0.0	3.1	0.0	2.6	0.5	3.6
2級	101	15.8	8.9	0.0	3.0	1.0	5.9	1.0	2.0
3級	147	8.8	2.7	0.0	0.7	0.0	3.4	1.4	1.4
4級	119	3.4	2.5	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8
5級	45	4.4	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	4.4	2.2
6級	31	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0

	移動 支援(ガイドヘルプ)	日中 一時支援	地域 活動支援センター	身体 障がい者療護施設	その他	利用 していない	わか らない	無回 答
1級	3.6	0.5	0.5	2.1	8.3	71.4	1.6	1.0
2級	7.9	0.0	3.0	5.0	6.9	57.4	2.0	3.0
3級	0.7	0.0	0.7	0.7	4.8	81.0	1.4	1.4
4級	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	89.1	1.7	3.4
5級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.1	0.0	0.0
6級	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	83.9	0.0	6.5

表 判定別にみた福祉サービスの利用状況<知的障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	居宅介護（ホームヘルプ）	生活介護	児童デイサービス	短期入所（ショートステイ）	就労移行支援	自立訓練（生活訓練）	就労継続支援	訪問入浴サービス
A判定	123	16.3	19.5	0.8	26.0	1.6	3.3	10.6	3.3
B判定	68	2.9	2.9	0.0	4.4	2.9	0.0	7.4	0.0
C判定	53	0.0	0.0	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0

	移動支援（ガイドヘルプ）	日中一時支援	地域活動支援センター	知的障がい者更生施設	知的障がい者授産施設等	その他	利用していない	わからない	無回答
A判定	28.5	8.1	12.2	16.3	27.6	8.9	6.5	0.8	1.6
B判定	7.4	1.5	1.5	2.9	66.2	4.4	14.7	1.5	0.0
C判定	0.0	0.0	0.0	0.0	71.7	5.7	17.0	0.0	1.9

表 等級別にみた福祉サービスの利用状況<精神障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	居宅介護（ホームヘルプ）	生活介護	児童デイサービス	短期入所（ショートステイ）	就労移行支援	自立訓練（生活訓練）	就労継続支援	移動支援（ガイドヘルプ）
1級	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2級	147	10.2	4.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
3級	73	8.2	1.4	0.0	1.4	2.7	0.0	0.0	0.0

	日中一時支援	地域活動支援センター	デイケア・ナイトケア	所 小規模保護作業	その他	利用していない	わからない	無回答
1級	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	0.0	0.0
2級	0.7	0.0	10.9	4.8	8.8	50.3	8.2	8.2
3級	1.4	1.4	5.5	12.3	5.5	52.1	8.2	6.8

問 次の福祉サービスのうち、あなたが、利用を続けたい、または、今後利用したいサービスはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスの今後の利用意向については、「利用しない」の割合を除くと、身体障がい者、精神障がい者で「居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が最も高くなっており、知的障がい者では「短期入所(ショートステイ)」の割合が、障がい児では「児童デイサービス」の割合が最も高くなっています。

等級(判定)別でみると、他の等級・判定に比べ、知的障がい者のA判定で「短期入所(ショートステイ)」「移動支援(ガイドヘルプ)」の割合が高くなっています。

表 福祉サービスの今後の利用意向

単位：割合(%)

	有効回答数(件)	居宅介護(ホームヘルプ)	生活介護	児童デイサービス	短期入所(ショートステイ)	就労移行支援	自立訓練(機能訓練)	就労継続支援	訪問入浴サービス	移動支援(ガイドヘルプ)	日中一時支援
身体障がい者	645	13.5	9.5	0.3	3.9	4.3	7.0	4.7	4.2	5.4	2.3
知的障がい者	249	13.7	13.7	1.2	24.9	3.6	8.4	11.2	2.0	20.1	15.7
精神障がい者	236	13.1	7.2	0.4	3.4	6.4	4.7	4.7		1.7	3.0
障がい児	188	8.5	2.7	54.8	28.7	16.5	18.1	18.6	3.7	29.8	33.5

	地域活動支援センター	デイケア・ナイトケア	身体障がい者療護施設	知的障がい者更生施設	知的障がい者授産施設等	小規模保護作業所	その他	利用しない	わからない	無回答
身体障がい者	4.5		6.4				5.0	20.8	37.8	5.1
知的障がい者	8.4			10.8	14.1		4.4	12.0	19.3	5.2
精神障がい者	5.5	12.7				7.6	5.1	17.4	32.6	5.9
障がい児	11.7						2.7	4.8	15.4	2.1

表 等級別にみた福祉サービスの今後の利用意向<身体障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	児童 デイサービス	短期入所 (ショートステイ)	就労移行支援	自立訓練 (機能訓練)	就労継続支援	訪問入浴サービス
1級	192	16.1	12.5	0.0	6.8	3.6	3.6	2.6	6.8
2級	101	22.8	17.8	2.0	5.9	3.0	11.9	5.0	4.0
3級	147	12.9	5.4	0.0	0.7	4.8	8.2	6.1	4.1
4級	119	6.7	4.2	0.0	1.7	5.0	4.2	4.2	2.5
5級	45	8.9	8.9	0.0	4.4	6.7	11.1	11.1	2.2
6級	31	6.5	3.2	0.0	0.0	6.5	9.7	3.2	0.0

	移動支援 (ガイドヘルプ)	日中一時支援	地域活動支援センター	身体障がい者療 護施設	その他	利用しない	わからない	無回答
1級	8.9	1.6	3.6	5.7	6.3	21.9	32.3	5.2
2級	10.9	4.0	5.0	9.9	2.0	13.9	29.7	5.9
3級	4.1	2.0	6.1	7.5	7.5	17.0	44.2	1.4
4級	0.0	2.5	2.5	3.4	3.4	27.7	44.5	7.6
5級	2.2	2.2	4.4	2.2	6.7	20.0	44.4	0.0
6級	0.0	3.2	6.5	12.9	0.0	32.3	35.5	6.5

表 判定別にみた福祉サービスの今後の利用意向<知的障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	児童デイサービス	短期入所 (ショートステイ)	就労移行支援	自立訓練 (生活訓練)	就労継続支援	訪問入浴サービス
A判定	123	24.4	20.3	0.8	44.7	3.3	8.9	11.4	4.1
B判定	68	4.4	8.8	0.0	7.4	4.4	4.4	14.7	0.0
C判定	53	1.9	3.8	3.8	3.8	3.8	11.3	7.5	0.0

	移動支援 (ガイドヘルプ)	日中一時支援	地域活動支援センター	知的障がい者更生施設	知的障がい者授産施設等	その他	利用しない	わからない	無回答
A判定	33.3	30.1	13.0	15.4	13.0	4.9	2.4	8.9	7.3
B判定	10.3	1.5	5.9	7.4	16.2	2.9	14.7	30.9	2.9
C判定	3.8	1.9	1.9	5.7	15.1	5.7	30.2	28.3	1.9

表 等級別にみた福祉サービスの今後の利用意向<精神障がい者>

単位：割合（％）

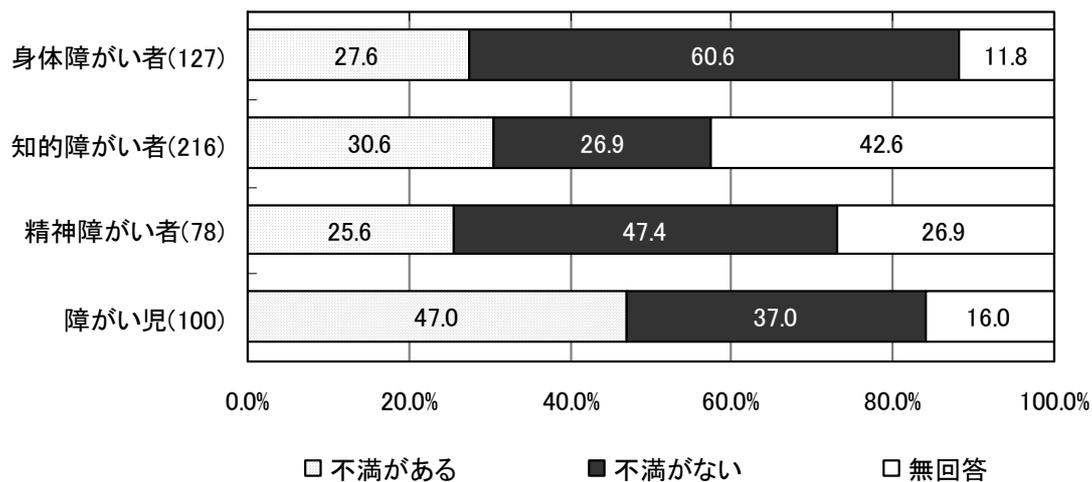
	有効回答数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	児童デイサービス	短期入所 (ショートステイ)	就労移行支援	自立訓練 (生活訓練)	就労継続支援	移動支援 (ガイドヘルプ)
1級	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2級	147	13.6	10.9	0.7	4.8	5.4	4.8	6.1	2.7
3級	73	12.3	1.4	0.0	1.4	9.6	5.5	2.7	0.0

	日中一時支援	地域活動支援センター	デイケア・ナイトケア	小規模保護作業所	その他	利用しない	わからない	無回答
1級	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0
2級	3.4	3.4	15.6	4.8	5.4	17.7	29.3	6.8
3級	1.4	9.6	9.6	15.1	5.5	16.4	34.2	5.5

「居宅介護(ホームヘルプ)」から「その他」までに○をつけられた方にお聞きします。

問 あなたやご家族の方は、現在利用している福祉サービスについて不満がありますか。
どちらかに○をつけてください。

福祉サービスへの不満の有無については、他の障がい者に比べ、障がい児で「不満がある」割合が高く、47.0%となっています。



()内は有効回答数

図 福祉サービスへの不満の有無

「不満がある」と答えた方にお聞きします。

問 どのような点に不満を感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

不満を感じる理由については、身体障がい者で「利用したいサービスが整備されていない」の割合が 28.6%、知的障がい者、障がい児で「利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、十分に利用できない」の割合が 4 割以上、精神障がい者で「利用料金（1割負担）が高い」の割合が 40.0%と、それぞれ最も高くなっています。

表 不満を感じる理由

単位：割合（%）

	有効回答数（件）	担当者のサービス技術	担当者の言葉づかいなどの態度	担当者が相談にのつてくれない	担当者が自分の要望を聞いてくれない	困っていることが解消されない	利用料金（1割負担）が高い
身体障がい者	35	17.1	2.9	8.6	11.4	20.0	25.7
知的障がい者	66	15.2	6.1	1.5	3.0	16.7	30.3
精神障がい者	20	15.0	10.0	15.0	5.0	25.0	40.0
障がい児	47	10.6	2.1	0.0	2.1	8.5	36.2

	申請の手続きがめんどろである	使いたい時に空きがなく利用できない	家族などが勧めるため利用しているが、利用したくない	利用したいサービスが整備されていない	利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、十分に利用できない	その他	無回答
身体障がい者	22.9	14.3	8.6	28.6	25.7	22.9	0.0
知的障がい者	18.2	39.4	1.5	34.8	45.5	22.7	1.5
精神障がい者	30.0	0.0	5.0	15.0	20.0	20.0	0.0
障がい児	10.6	31.9	0.0	31.9	51.1	29.8	2.1

「利用していない」と答えた方にお聞きします。

問 現在、福祉サービスを利用していない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用していない理由については、身体障がい者、精神障がい者、障がい児では「家族などで十分な介護ができるから」の割合が最も高く、特に障がい児で高くなっています。また、他の障がいに比べ、精神障がい者で「困っていることを解消するサービスがないから」の割合が高くなっています。

表 福祉サービスを利用していない理由

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	家族などで十分な介護ができるから	他人に家庭に入ってきてほしくないから	他人の世話になるのはいやだから	福祉サービスを利用するだけの金銭的余裕がないから	福祉サービスを利用することに抵抗を感じるから	福祉サービスを利用することがないから	困っていることを解消するサービスがないから	利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、利用できないから	その他	わからない	無回答
身体障がい者	494	39.7	5.3	5.3	8.9	2.2	7.3	0.6	26.5	11.3	11.1	
知的障がい者	27	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	92.6	
精神障がい者	122	25.4	15.6	10.7	18.0	10.7	21.3	4.1	17.2	12.3	11.5	
障がい児	82	51.2	4.9	1.2	11.0	3.7	15.9	8.5	29.3	12.2	0.0	

(4) 就労について

問 あなたの現在の就労の状況などについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

就労状況などについては、身体障がい者、知的障がい者で「会社で仕事をしている」の割合が約2割となっています。精神障がい者で「その他」「自宅の家事をしている（主婦、家事手伝い）」の割合が約2割と、それぞれ最も高くなっています。また、他の障がいに比べ知的障がい者で「授産施設・作業所などに通っている」の割合が高くなっています。

等級（判定）別で見ると、身体障がい者では重度になるにつれ「会社で仕事をしている」の割合が低くなる傾向がみられます。

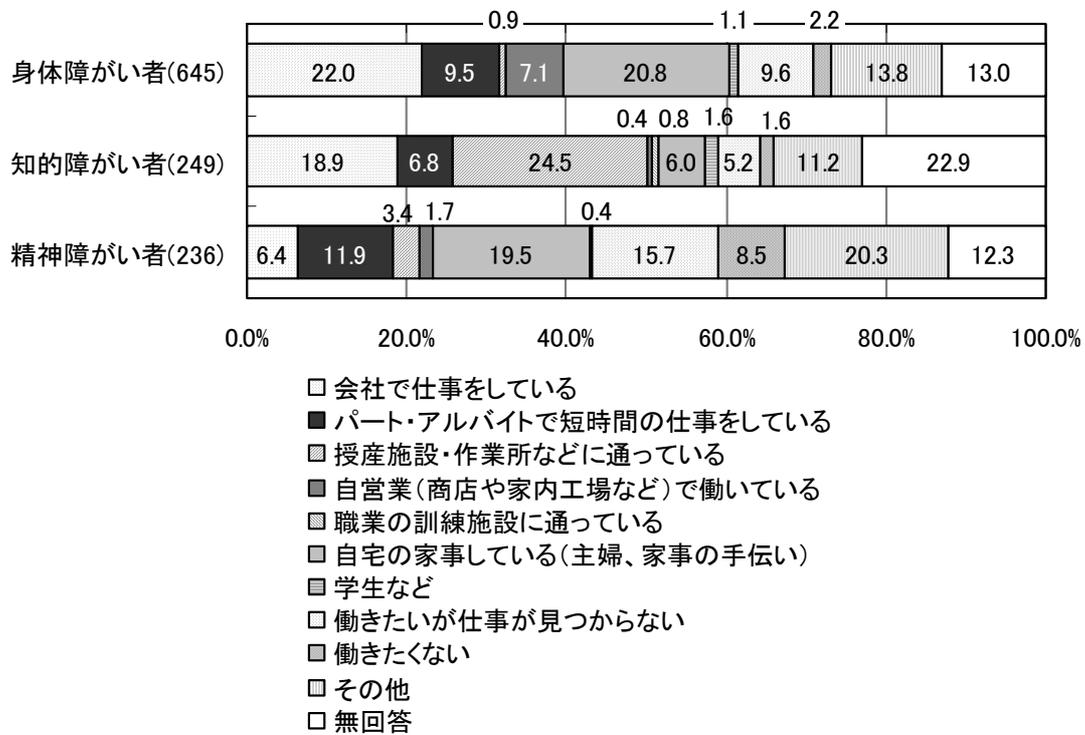


図 就労状況

表 等級別にみた就労状況<身体障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	会社で仕事をしている	パート・アルバイトで短時間の仕事をしている	授産施設・作業所などに通っている	自営業（商店や家内工場など）で働いている	職業の訓練施設に通っている	主婦、家事の手伝い（自宅の家事している（主婦、家事の手伝い）	学生など	働きたいが仕事が見つからない	働きたくない	その他	無回答
1級	192	19.8	13.5	0.5	3.1	0.0	16.7	1.6	10.9	2.6	16.1	15.1
2級	101	9.9	5.0	3.0	5.9	0.0	23.8	1.0	7.9	1.0	17.8	24.8
3級	147	19.7	8.8	0.7	8.2	0.0	27.2	2.0	7.5	2.0	14.3	9.5
4級	119	27.7	7.6	0.0	10.1	0.0	21.8	0.0	13.4	1.7	10.9	6.7
5級	45	37.8	8.9	2.2	8.9	0.0	15.6	0.0	6.7	2.2	8.9	8.9
6級	31	41.9	12.9	0.0	12.9	0.0	16.1	0.0	9.7	3.2	3.2	0.0

表 判定別にみた就労状況<知的障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	会社で仕事をしている	パート・アルバイトで短時間の仕事をしている	授産施設・作業所などに通っている	自営業（商店や家内工場など）で働いている	職業の訓練施設に通っている	主婦、家事の手伝い（自宅の家事している（主婦、家事の手伝い）	学生など	働きたいが仕事が見つからない	働きたくない	その他	無回答
A判定	123	3.3	3.3	31.7	0.0	1.6	3.3	0.8	0.8	1.6	15.4	38.2
B判定	68	29.4	8.8	23.5	0.0	0.0	7.4	1.5	7.4	1.5	7.4	13.2
C判定	53	41.5	13.2	11.3	1.9	0.0	7.5	3.8	13.2	1.9	3.8	1.9

表 等級別にみた就労状況<精神障がい者>

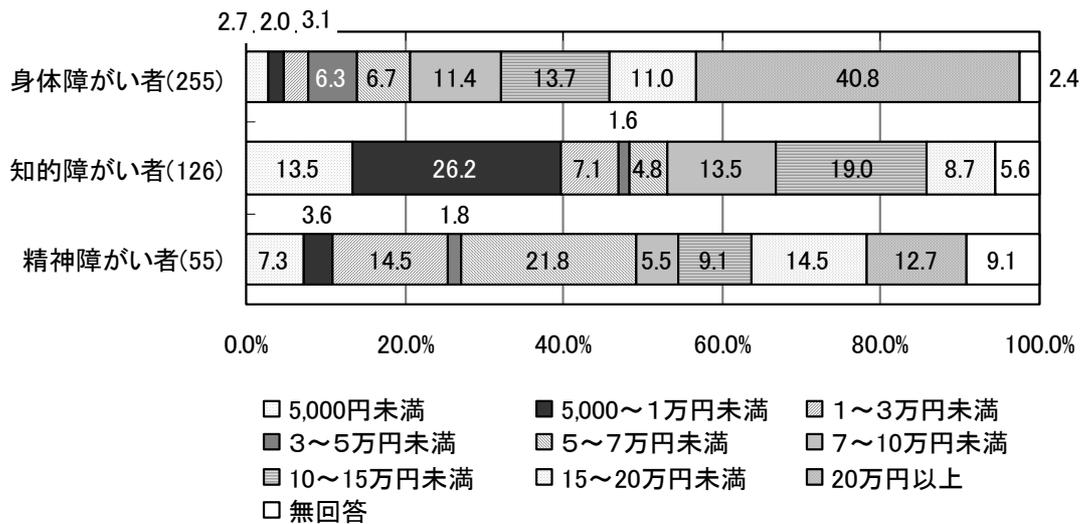
単位：割合（％）

	有効回答数（件）	会社で仕事をしている	パート・アルバイトで短時間の仕事をしている	授産施設・作業所などに通っている	自営業（商店や家内工場など）で働いている	職業の訓練施設に通っている	主婦、家事の手伝い（自宅の家事している（主婦、家事の手伝い）	学生など	働きたいが仕事が見つからない	働きたくない	その他	無回答
1級	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	37.5	25.0
2級	147	4.8	8.8	4.1	2.0	0.0	19.7	0.7	17.7	9.5	19.7	12.9
3級	73	11.0	19.2	2.7	1.4	0.0	21.9	0.0	15.1	4.1	16.4	8.2

「仕事をしている」から「自営業（商店や家内工場など）で働いている」までに答えた方にお聞きします。

問 仕事や工賃による1か月の収入はどのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1か月の収入については、身体障がい者で「20万円以上」の割合が40.8%、知的障がい者で「5,000～1万円未満」の割合が26.2%、精神障がい者で「5～7万円未満」の割合が21.8%と、それぞれ最も高くなっています。

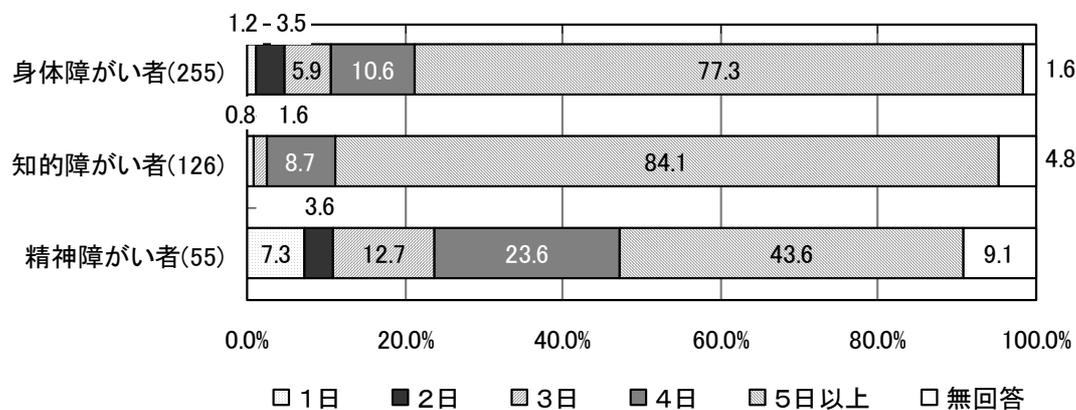


()内は有効回答数

図 1か月の収入

問 あなたは週に何日くらい働いていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1週間の就労日数については、三障がいともに「5日以上」の割合が最も高く、身体障がい者、知的障がい者で7割以上、精神障がい者で43.6%となっています。



()内は有効回答数

図 1週間の就労日数

問 現在の仕事について不安や不満はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

現在の仕事への不安や不満については、精神障がい者で「給料が安い」「自分のやりたい業務に就けない」の割合が2割以上となっています。また、身体障がい者、知的障がい者では「特にない」の割合が4割以上となっています。

表 現在の仕事への不安や不満

単位：割合（％）

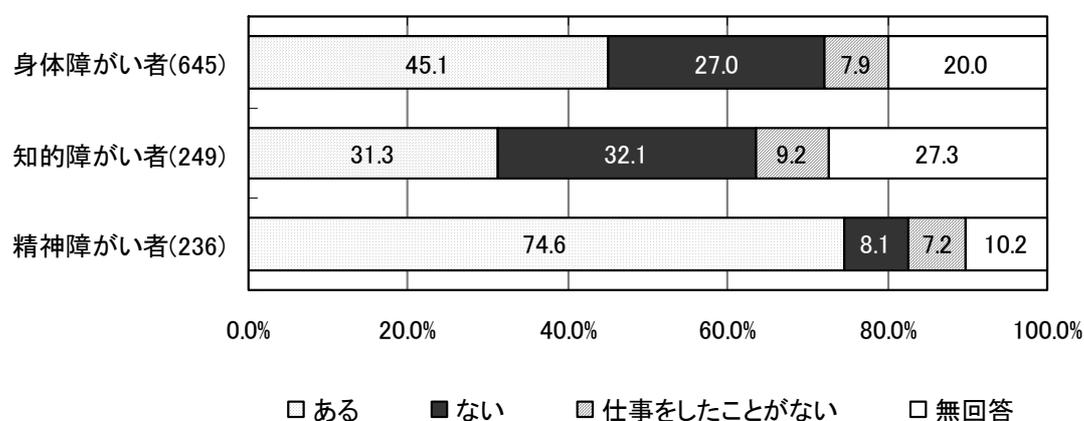
	有効回答数 (件)	職場の設備に 障がある	通勤に支障が ある	人間関係がよく ない	給料が安い	障がいに対する 配慮がない	職場の身分が不 安定である
身体障がい者	255	4.3	6.7	11.0	16.1	10.6	9.0
知的障がい者	126	4.8	13.5	8.7	31.0	9.5	8.7
精神障がい者	55	5.5	3.6	16.4	29.1	10.9	14.5

	職場に相談する 人がいない	仕事が自分にと って難しい	自分のやりたい 業務に就けない	毎日働くことが できない	その他	特にない	無回答
身体障がい者	7.8	3.5	4.7	5.1	7.1	54.1	2.7
知的障がい者	7.1	0.0	4.8	2.4	4.0	42.1	6.3
精神障がい者	18.2	10.9	23.6	18.2	18.2	14.5	9.1

問 あなたは、仕事をかえたり、辞めたりしたことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

仕事をかえたり、辞めたりした経験の有無については、「ある」の割合が身体障がい者で45.1%、知的障がい者で31.3%、精神障がい者で74.6%となっており、特に精神障がい者で高くなっています。

等級別で見ると、三障がいともに重度になるにつれ「ある」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他の等級・判定に比べ、身体障がい者の1級、知的障がい者のA判定では「仕事をすることがない」の割合が高くなっています。



()内は有効回答数

図 仕事をかえたり、辞めたりした経験の有無

表 等級別にみた仕事をかえたり、辞めたりした経験の有無<身体障がい者> 単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	ある	ない	仕事をしたこと がない	無回答
1級	192	39.6	25.5	13.0	21.9
2級	101	43.6	22.8	7.9	25.7
3級	147	45.6	27.2	6.8	20.4
4級	119	48.7	31.1	5.9	14.3
5級	45	53.3	26.7	2.2	17.8
6級	31	67.7	25.8	0.0	6.5

表 判定別にみた仕事をかえたり、辞めたりした経験の有無<知的障がい者> 単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	ある	ない	はたらいたこと がない	無回答
A判定	123	14.6	28.5	15.4	41.5
B判定	68	47.1	35.3	2.9	14.7
C判定	53	49.1	37.7	0.0	13.2

表 等級別にみた仕事をかえたり、辞めたりした経験の有無<精神障がい者> 単位：割合（％）

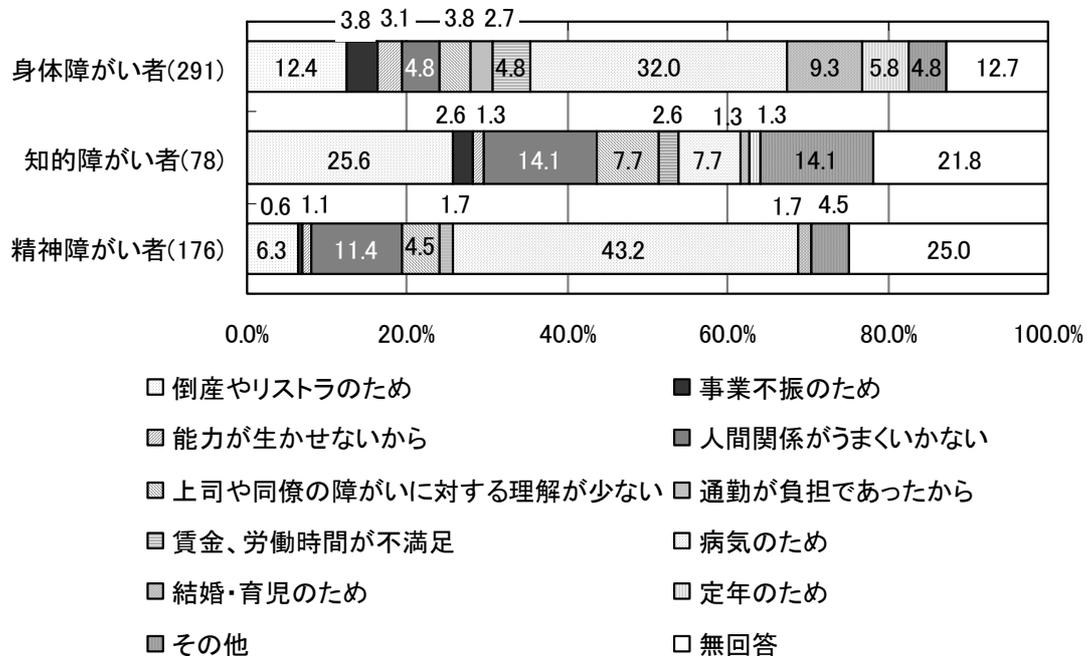
	有効回答数 (件)	ある	ない	仕事をしたこと がない	無回答
1級	8	75.0	12.5	0.0	12.5
2級	147	72.8	6.8	8.8	11.6
3級	73	78.1	11.0	2.7	8.2

「ある」と答えた方にお聞きします。

問 仕事をかえたり、辞めた主な理由はなんですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

仕事をかえたり、辞めた主な理由については、身体障がい者、精神障がい者で「病気のため」の割合が3割以上、知的障がい者で「倒産やリストラのため」の割合が25.6%と、それぞれ最も高くなっています。また、身体障がい者に比べ、知的障がい者、精神障がい者で「人間関係がうまくいかない」の割合が高くなっています。

等級（判定）別で見ると、等級・判定が重度になるにつれ「病気のため」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の等級・判定に比べ、知的障がい者のA判定で「人間関係がうまくいかない」の割合が高くなっています。



()内は有効回答数

図 仕事をかえたり、辞めた主な理由

表 等級別にみた仕事をかえたり、辞めた主な理由<身体障がい者>

単位：割合（％）

	有効回答数(件)	倒産やリストラのため	事業不振のため	能力が生かせないから	人間関係がうまくいかない	上司や同僚の障がいに対する理解が少ない	通勤が負担であったから
1級	76	10.5	2.6	2.6	2.6	3.9	2.6
2級	44	15.9	2.3	0.0	4.5	4.5	2.3
3級	67	7.5	3.0	4.5	3.0	3.0	4.5
4級	58	13.8	6.9	3.4	8.6	0.0	1.7
5級	24	20.8	0.0	4.2	12.5	8.3	4.2
6級	21	9.5	9.5	4.8	0.0	9.5	0.0

	賃金、労働時間が不満足	病気のため	結婚・育児のため	定年のため	その他	無回答
1級	1.3	44.7	6.6	3.9	3.9	14.5
2級	0.0	31.8	9.1	9.1	9.1	11.4
3級	3.0	35.8	7.5	6.0	4.5	17.9
4級	10.3	25.9	15.5	3.4	5.2	5.2
5級	4.2	20.8	4.2	8.3	4.2	8.3
6級	19.0	4.8	14.3	9.5	0.0	19.0

表 判定別にみた仕事をかえたり、辞めた主な理由<知的障がい者> 単位：割合（％）

	有効回答数（件）	倒産やリストラのため	事業不振のため	能力が生かせないから	人間関係がうまくいかない	上司や同僚の障がいに対する理解が少ない	通勤が負担であったから
A判定	18	11.1	5.6	0.0	22.2	5.6	0.0
B判定	32	28.1	3.1	3.1	9.4	6.3	0.0
C判定	26	34.6	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0

	賃金、労働時間が不満足	病気のため	結婚・育児のため	定年のため	その他	無回答
A判定	5.6	5.6	0.0	0.0	16.7	27.8
B判定	3.1	6.3	3.1	3.1	12.5	21.9
C判定	0.0	11.5	0.0	0.0	15.4	15.4

表 等級別にみた仕事をかえたり、辞めた主な理由<精神障がい者> 単位：割合（％）

	有効回答数（件）	倒産やリストラのため	事業不振のため	能力が生かせないから	人間関係がうまくいかない	上司や同僚の障がいに対する理解が少ない	通勤が負担であったから
1級	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2級	107	7.5	0.9	0.9	8.4	5.6	0.0
3級	57	5.3	0.0	1.8	15.8	3.5	0.0

	賃金、労働時間が不満足	病気のため	結婚・育児のため	定年のため	その他	無回答
1級	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7
2級	0.9	42.1	1.9	0.0	3.7	28.0
3級	3.5	43.9	1.8	0.0	5.3	19.3

問 障がい者の就労支援のために、次のようなものがあります。この中で聞いたことがあるものすべて○をつけてください。

障がい者の就労支援のためについては、三障がいともに「ハローワーク」の割合が最も高く、5割以上となっています。また、精神障がい者に比べ、身体障がい者、知的障がい者で「障害者就業・生活支援センター」「障がい者職業訓練」の割合が高く、知的障がい者で「ジョブコーチ」の割合が高くなっています。一方で、他の障がいに比べ、精神障がい者で「どれも聞いたことがない」の割合が高くなっています。

表 障がい者の就職支援

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	ハローワーク	ジョブコーチ	障害者就業・生活支援センター	トライアル雇用	障がい者職業訓練
身体障がい者	645	70.7	4.8	24.3	2.6	29.9
知的障がい者	249	54.2	16.9	23.3	6.4	36.1
精神障がい者	236	61.9	7.6	16.9	3.8	17.8

	在宅就業支援制度	障がい者就職面接会	グループ就労訓練助成金	精神障がい者総合雇用支援	どれも聞いたことがない	無回答
身体障がい者	4.3	6.0	1.9		12.7	11.8
知的障がい者	2.8	3.6	2.0		12.4	22.9
精神障がい者	3.0	5.5	1.3	6.4	22.9	9.7

(5) 就学について (障がい児)

問 あなたの現在の就学の状況などについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい児の就学状況については、「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」の割合が最も高く77.1%となっています。一方で、「いずれにも該当せず自宅にいる」の割合が6.4%となっています。

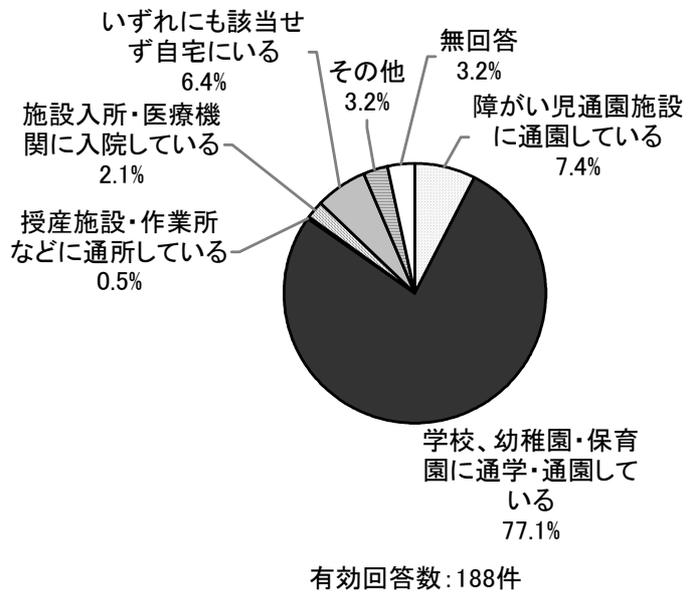
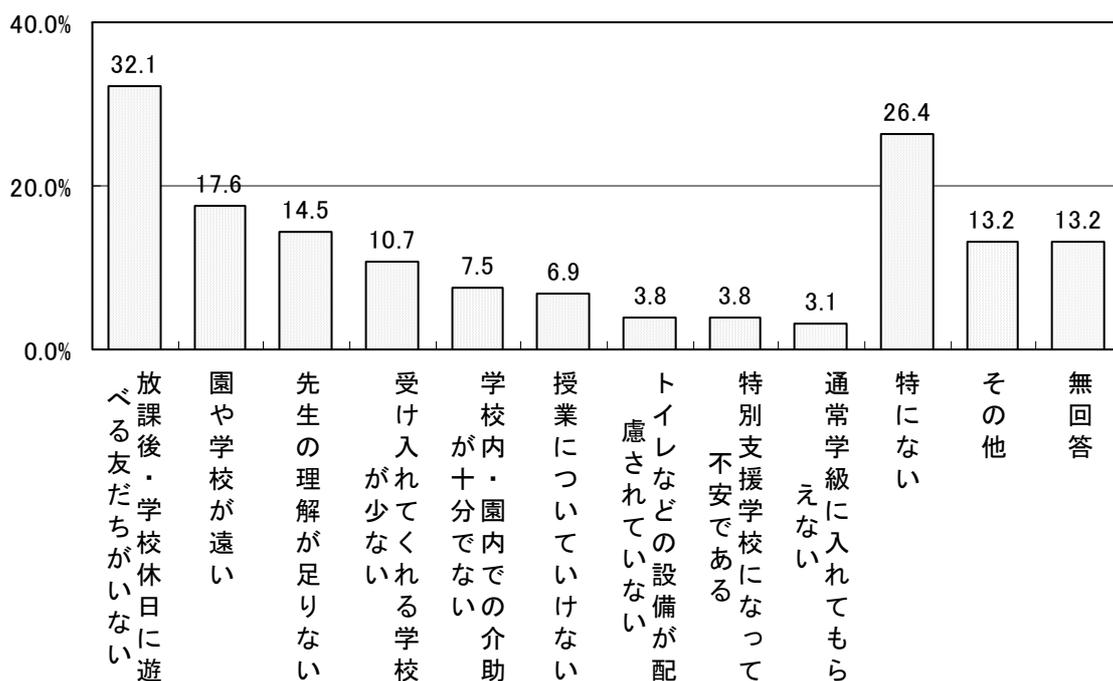


図 就学状況

「障がい児通園施設に通園している」から「職業の訓練施設に通所している」までに答えた方にお聞きします。

問 困っていることは何かありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい児の就学で困っていることについては、「特にない」の割合を除くと「放課後・学校休日に遊べる友だちがない」の割合が最も高く 32.1%となっており、次いで「園や学校が遠い」の割合が 17.6%、「先生の理解が足りない」の割合が 14.5%となっています。

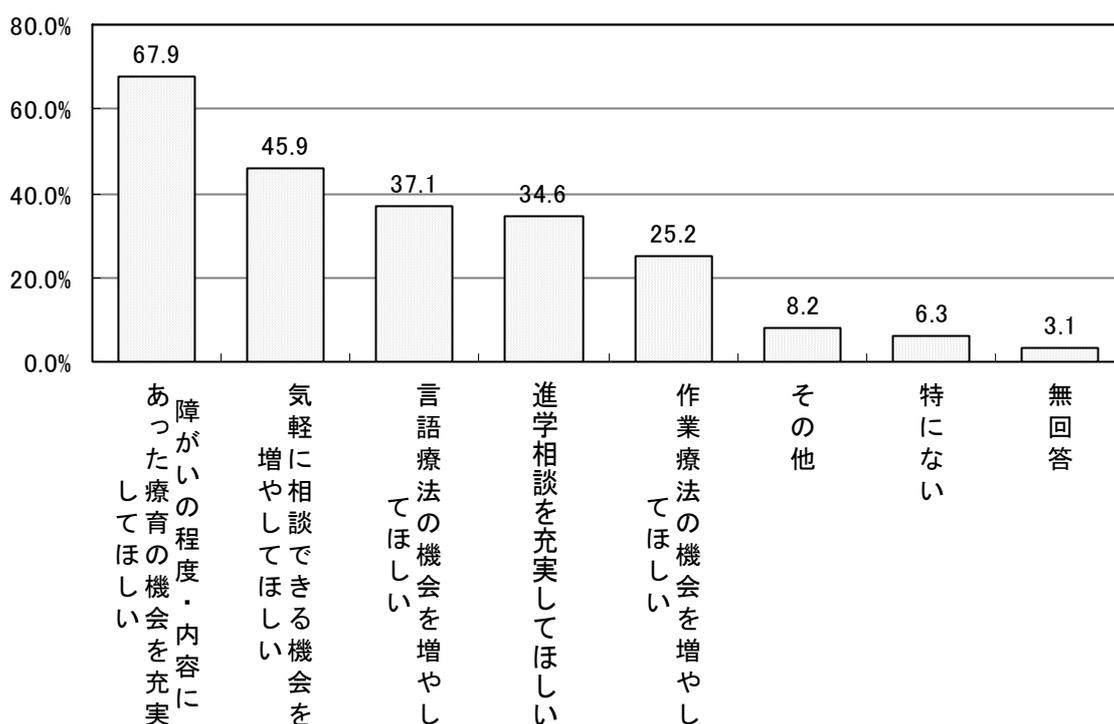


有効回答数: 159件

図 就学で困っていること

問 療育についてどのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

療育への考えについては、「障がいの程度・内容にあった療育の機会を充実してほしい」の割合が最も高く 67.9%となっており、次いで「気軽に相談できる機会を増やしてほしい」の割合が 45.9%、「言語療法の機会を増やしてほしい」の割合が 37.1%となっています。

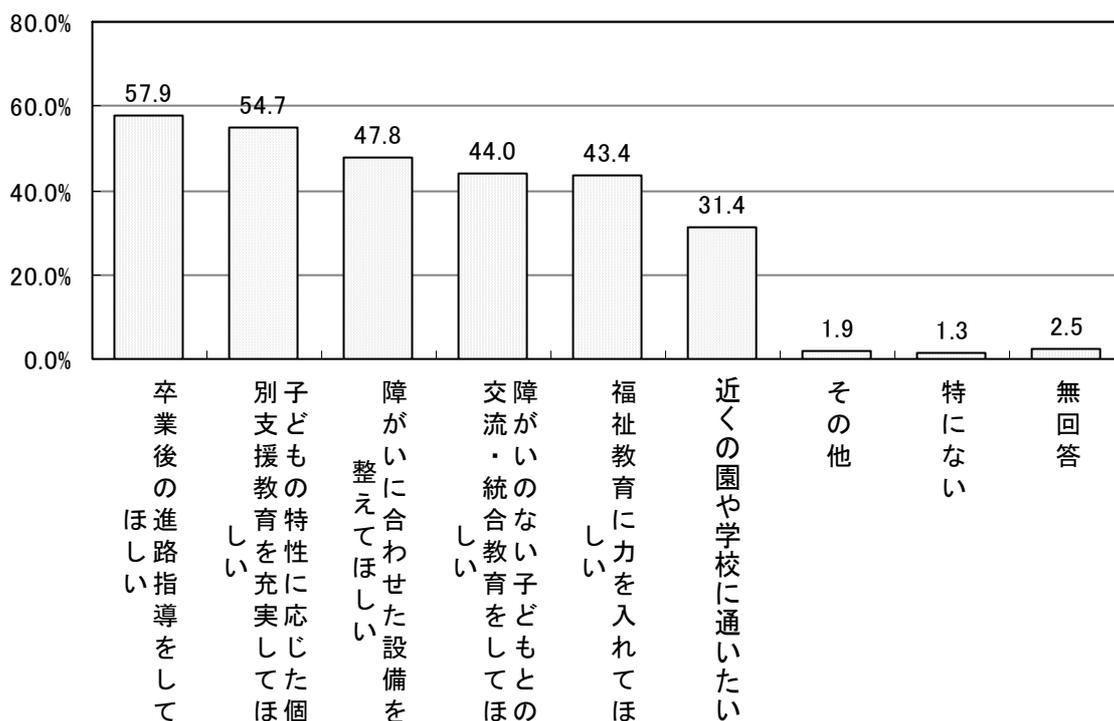


有効回答数：159件

図 療育への考え

問 今後の就園・就学についてどのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後の就園・就学については、「卒業後の進路指導をしてほしい」の割合が最も高く 57.9% となっており、次いで「子どもの特性に応じた個別支援教育を充実してほしい」の割合が 54.7%、「障がいに合わせて設備を整えてほしい」の割合が 47.8%となっています。

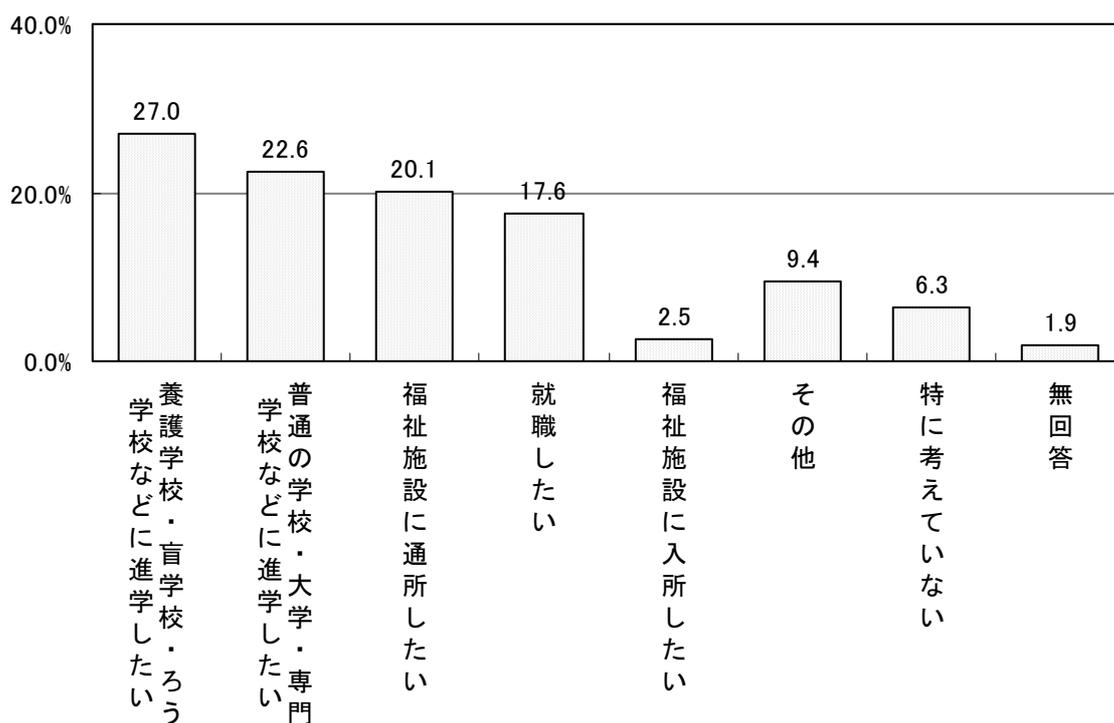


有効回答数: 159件

図 今後の就園・就学について

問 卒園・卒業後のことについて何かお考えですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

卒園・卒業後のことについては、「養護学校・盲学校・ろう学校などに進学したい」の割合が最も高く 27.0%となっており、次いで「普通の学校・大学・専門学校などに進学したい」の割合が 22.6%、「福祉施設に通所したい」の割合が 20.1%となっています。



有効回答数: 159件

図 卒園・卒業後のことについて

(6) 災害など緊急事態の対応について

問 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたが、情報を得る手段は何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害などの緊急事態が発生した場合、情報を得る手段については、身体障がい者、精神障がい者で「テレビ」の割合が7割以上、知的障がい者、障がい児で「家族や近所の人」の割合が7割以上と、それぞれ最も高くなっています。また、他の障がいに比べ、障がい児で「携帯電話」の割合が高くなっています。

表 災害などの緊急事態が発生した場合、情報を得る手段

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	家族や近所の人	防災無線	テレビ	ラジオ	ファックス	パソコン	携帯電話	特 に ない	その他	無 回 答
身体障がい者	645	60.6	2.2	85.7	41.9	2.9	14.1	31.9	0.9	0.9	1.6
知的障がい者	249	75.5	2.4	62.7	30.5	0.8	2.4	20.1	1.6	6.0	5.2
精神障がい者	236	50.8	2.5	74.6	43.6	0.8	7.6	23.7	3.4	2.1	4.2
障がい児	188	73.4	2.7	68.6	31.9	2.1	14.4	41.0	3.2	1.6	0.5

問 あなたは、災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

緊急事態時の避難場所までの可否については、身体障がい者、精神障がい者で「ひとりで避難できると思う」の割合が5割以上となっています。一方で、知的障がい者、障がい児で「ひとりでは避難できないと思う」の割合が6割以上となっています。

等級（判定）別でみると、等級・判定が重度になるにつれ「ひとりでは避難できないと思う」の割合が高くなる傾向がみられます。

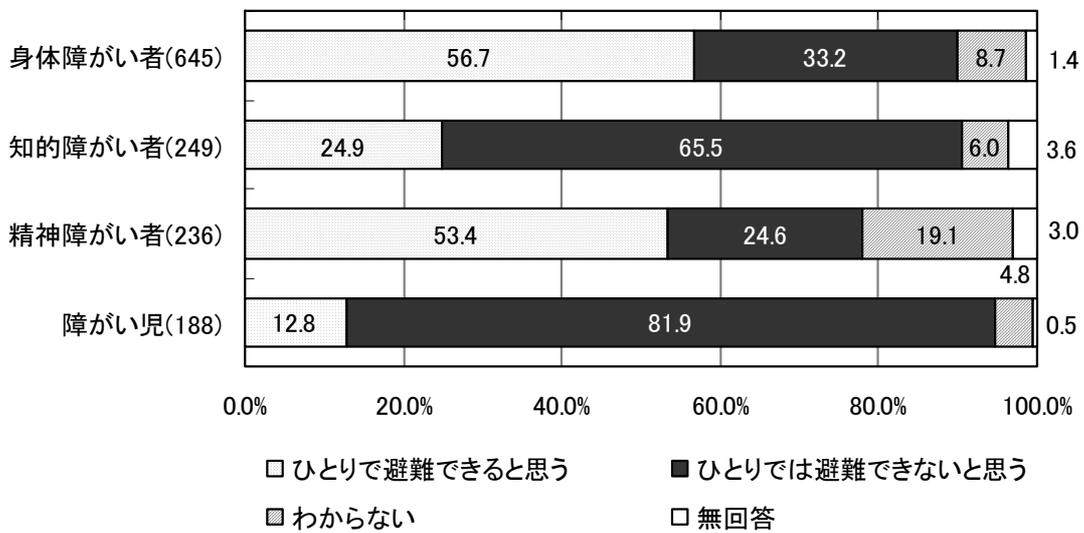


図 緊急事態時の避難場所までの可否 ()内は有効回答数

表 等級別にみた緊急事態時の難場所までの可否<身体障がい者> 単位：割合（%）

	有効回答数 (件)	ひとりでは避難でき ると思う	ひとりでは避難 できないと思う	わからない	無回答
1級	192	51.0	40.6	7.3	1.0
2級	101	32.7	53.5	11.9	2.0
3級	147	57.8	30.6	10.9	0.7
4級	119	72.3	16.8	10.1	0.8
5級	45	75.6	22.2	2.2	0.0
6級	31	87.1	9.7	3.2	0.0

表 判定別にみた緊急事態時の難場所までの可否<知的障がい者> 単位：割合（%）

	有効回答数 (件)	ひとりでは避難でき ると思う	ひとりでは避難 できないと思う	わからない	無回答
A判定	123	5.7	87.8	1.6	4.9
B判定	68	30.9	55.9	11.8	1.5
C判定	53	64.2	22.6	9.4	3.8

表 等級別にみた緊急事態時の難場所までの可否<精神障がい者> 単位：割合（%）

	有効回答数 (件)	ひとりでは避難でき ると思う	ひとりでは避難 できないと思う	わからない	無回答
1級	8	37.5	50.0	12.5	0.0
2級	147	44.9	29.3	21.1	4.8
3級	73	74.0	11.0	15.1	0.0

「ひとりでは避難できないと思う」と答えた方にお聞きします

問 どなたか一緒に避難場所まで避難してもらいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に避難してくれる人については、全体に「同居の家族」の割合が最も高く、6割以上となっています。一方で、身体障がい者、知的障がい者で「一緒に避難してくれる人がいない」の割合が1割以上となっています。

表 一緒に避難してくれる人

単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	同居の家族	別居の親族	隣近所の人	友人・知人	民生委員	区・町内会の役員	園や学校の先生	その他	一緒に避難してく れる人がいない	無回答
身体障がい者	214	76.6	11.2	12.1	3.7	3.7	2.8		3.7	10.3	2.3
知的障がい者	163	83.4	9.8	11.0	2.5	0.0	1.8		12.3	4.3	0.0
精神障がい者	58	63.8	8.6	12.1	5.2	0.0	1.7		12.1	15.5	5.2
障がい児	154	92.9	8.4	12.3	6.5	0.0	0.6	32.5	4.5	1.9	0.6

問 あなたが災害などの緊急事態に困ると思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害などの緊急事態に困ると思うことについては、身体障がい者で「自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない」の割合が 34.3%、知的障がい者、障がい児で「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」の割合が 7 割以上、精神障がい者で「一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい」の割合が 43.2%と、それぞれ最も高くなっています。また、他の障がいに比べ、身体障がい者で「避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない」の割合が、知的障がい者、障がい児で「自分の身体の状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない」「避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない」の割合が、ともに高くなっています。一方で、他の障がいに比べ、身体障がい者で「特に困ることはない」の割合が高くなっています。

等級（判定）別で見ると、身体障がい者では他の等級に比べ、1 級で「一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい」の割合が高くなっています。また、1 級、2 級で「自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない」の割合が高くなっています。知的障がい者では重度になるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」「自分の身体の状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない」「避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない」「避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない」で 5 割以上となっています。

表 災害などの緊急事態に困ると思うこと

単位：割合（％）

	有効回答数（件）	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい	自分の身体の状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない	自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない	避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない	避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない
身体障がい者	645	17.5	10.4	34.3	13.6	8.1
知的障がい者	249	75.1	44.6	18.5	54.6	55.8
精神障がい者	236	40.3	17.8	7.6	16.1	29.7
障がい児	188	77.1	55.3	26.1	54.8	54.8

	一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない	その他	特に困ることはない	無回答
身体障がい者	27.3	30.5	6.7	23.9	4.2
知的障がい者	26.9	26.1	5.6	9.6	4.8
精神障がい者	43.2	19.1	11.4	17.4	6.4
障がい児	22.9	23.9	14.9	5.3	4.3

表 等級別にみた災害などの緊急事態に困ると思うこと<身体障がい者> 単位：割合（％）

	有効回答数（件）	動することが難しい	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい	周りの人に援助を求めることができない	自分の身体状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない	すばやく避難できない	自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない	避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない	避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない	避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない	その他	特に困ることはない	無回答
1級	192	22.4	14.1	27.6	15.1	10.4	48.4	26.0	9.4	17.7	3.1				
2級	101	28.7	15.8	59.4	19.8	15.8	26.7	46.5	5.9	11.9	3.0				
3級	147	10.9	8.8	40.8	12.9	7.5	20.4	32.7	6.1	22.4	4.1				
4級	119	10.9	5.9	26.9	10.1	3.4	10.1	31.1	2.5	33.6	4.2				
5級	45	17.8	6.7	22.2	11.1	0.0	17.8	13.3	8.9	40.0	2.2				
6級	31	12.9	3.2	12.9	9.7	3.2	12.9	25.8	3.2	48.4	6.5				

表 判定別にみた災害などの緊急事態に困ると思うこと<知的障がい者> 単位：割合（％）

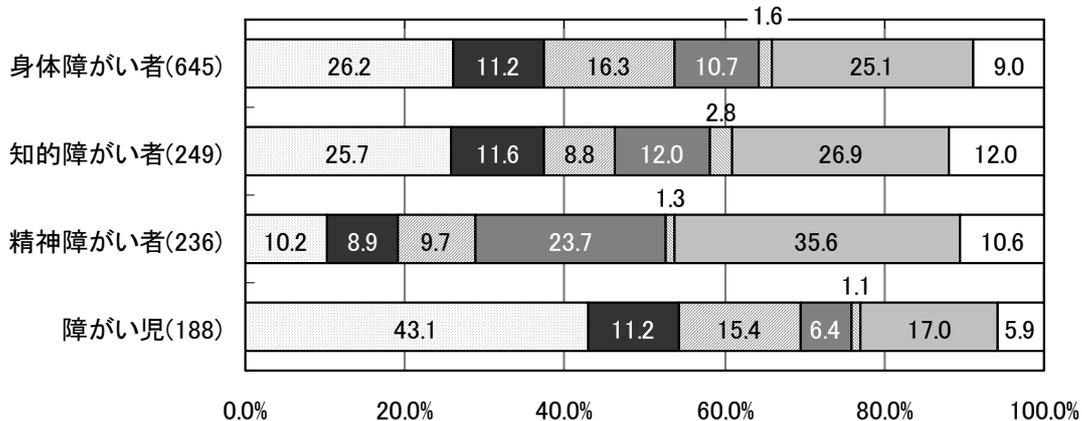
	有効回答数（件）	動することが難しい	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい	周りの人に援助を求めることができない	自分の身体状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない	すばやく避難できない	自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない	避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない	避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない	避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない	その他	とくに困ることはない	無回答
A判定	123	86.2	67.5	35.0	68.3	69.9	39.0	43.1	8.1	1.6	5.7				
B判定	68	67.6	22.1	2.9	45.6	47.1	13.2	7.4	1.5	14.7	2.9				
C判定	53	58.5	17.0	0.0	35.8	34.0	17.0	11.3	5.7	22.6	5.7				

表 等級別にみた災害などの緊急事態に困ると思うこと<精神障がい者> 単位：割合（%）

	有効回答数（件）	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい	自分の身体状況を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない	自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない	避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない	避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない	一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい	避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない	その他	特に困ることはない	無回答
1級	8	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
2級	147	45.6	21.1	9.5	18.4	32.0	44.9	19.7	8.2	15.6	7.5
3級	73	24.7	12.3	4.1	15.1	27.4	45.2	20.5	19.2	21.9	4.1

問 災害時の避難などに援護が必要な障がい者に対して、その安否確認や避難の支援に使用するために必要な情報（移動支援の必要性、緊急連絡先など）を地域で共有することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

緊急時の連絡方法については、「個人情報の守秘義務に関する覚書を結んだ上で、事前に町内会や自主防災会などに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう」と「法律上、個人情報の守秘義務が課せられている民生委員のみに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう」をあわせたリスト作成に賛成の人の割合は、身体障がい者で37.4%、知的障がい者で37.3%、精神障がい者で19.1%、障がい児で54.3%となっており、特に障がい児で高くなっています。



- 個人情報の守秘義務に関する覚書を結んだ上で、事前に町内会や自主防災会などに提供し、災害時に必要な情報を把握していただく
- 法律上、個人情報の守秘義務が課せられている民生委員のみに提供し、災害時に必要な情報を把握していただく
- 本人の同意を得られる人だけの情報を町内会や自主防災会などに提供し、災害時に必要な情報を把握していただく
- 個人のプライバシーにかかわるため、町内会や自主防災会などには提供すべきではない(行政の支援のみに利用)
- その他
- わからない
- 無回答

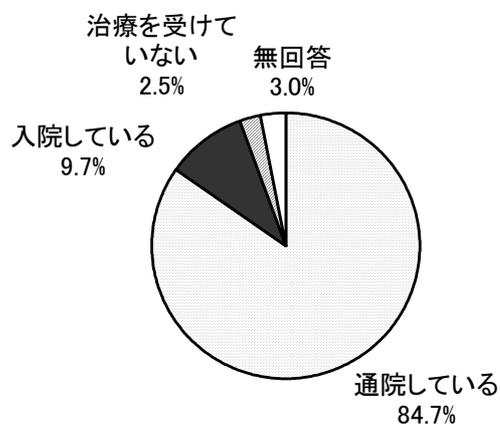
()内は有効回答数

図 緊急時の連絡方法について

(7) 医療や地域生活について (精神障がい者)

問 あなたは、現在、精神に関する治療を受けていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

治療の状況については、「通院している」の割合が84.7%、「入院している」の割合が9.7%、「治療を受けていない」の割合が2.5%となっています。

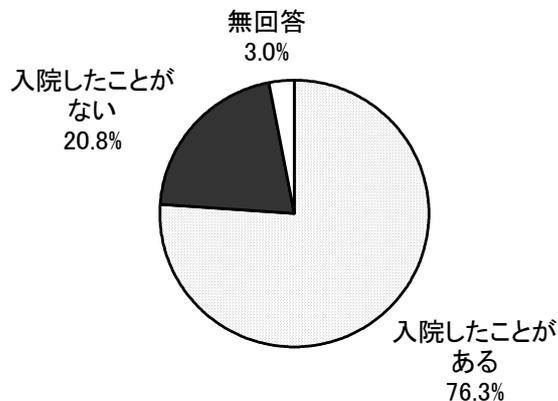


有効回答数: 236件

図 治療の状況

問 あなたは、精神に関する障がいで入院したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください

精神に関する障がいで入院したことがあるかについては、「入院したことがある」の割合が76.3%、「入院したことがない」の割合が20.8%となっています。



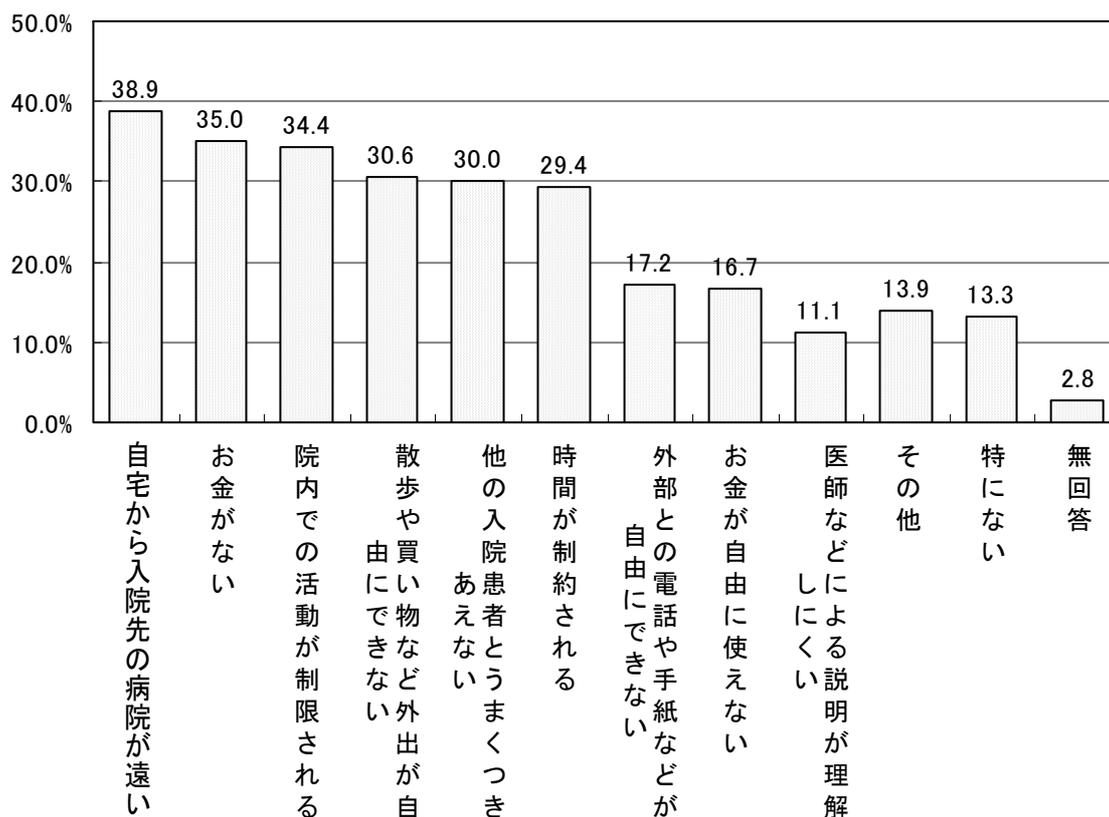
有効回答数: 236件

図 入院経験の有無

「入院したことがある」と答えた方にお聞きします。

問 あなたは、入院したときに何か困ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

入院したときに困ったことについては、「自宅から入院先の病院が遠い」の割合が最も高く 38.9%となっており、次いで「お金がない」の割合が 35.0%、「院内での活動が制限される」の割合が 34.4%となっています。

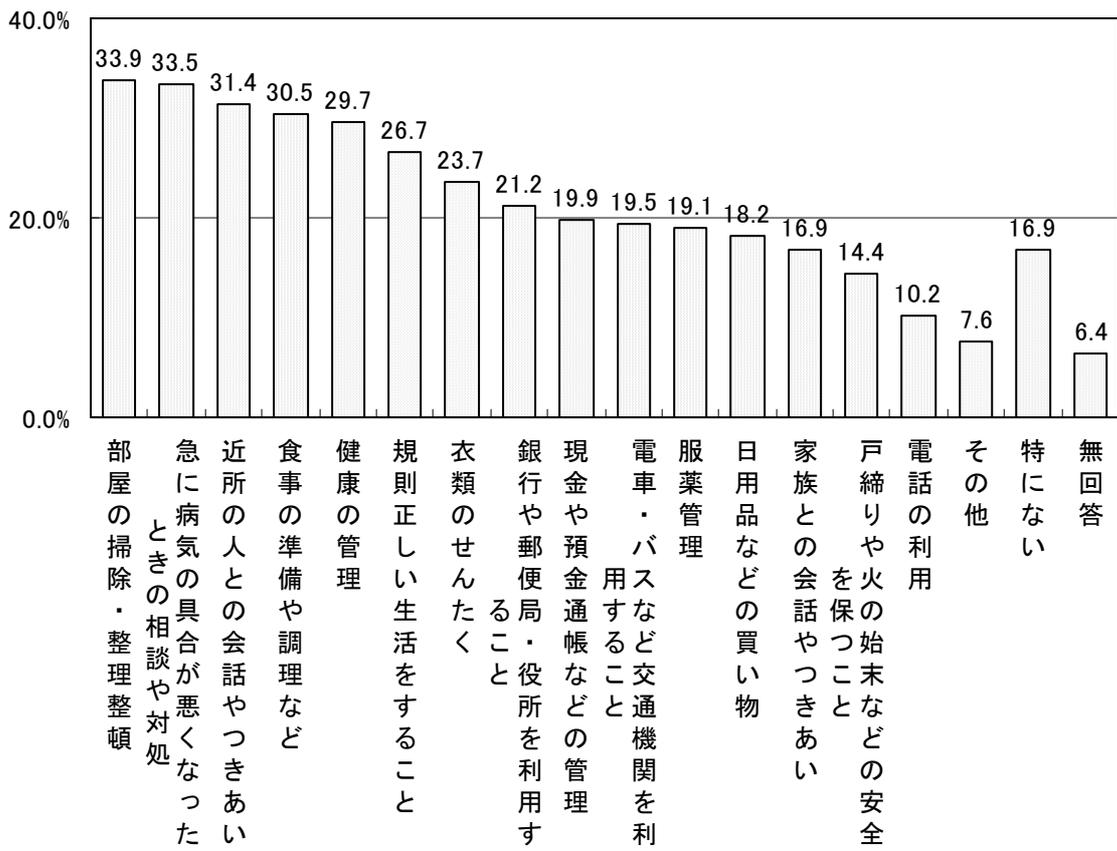


有効回答数: 180件

図 入院したときに困ったこと

問 あなたが現在、地域生活をしていく上で困ると思われることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

地域生活をしていく上で困ると思われることについては、「部屋の掃除・整理整頓」の割合が最も高く 33.9%となっており、次いで「急に病気の具合が悪くなったときの相談や対処」の割合が 33.5%、「近所の人との会話やつきあい」の割合が 31.4%となっています。



有効回答数: 236件

図 地域生活をしていく上で困ると思われること

問 あなたが今後、特に充実すべきだと考える障がい者の施策について、あてはまるものに5つまで○をつけてください。(無理に5つを選ぶ必要はありません)

今後、充実したほうがよい障がい者の施策については、身体障がい者、知的障がい者で「高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設の整備」の割合が3割以上、精神障がい者で「障がい者の雇用促進」の割合が31.0%、障がい児で「障がい児の療育の場の整備・充実」の割合が42.5%と、それぞれ最も高くなっています。

表 今後、充実したほうがよい障がい者の施策（その1）

単位：割合（%）

	有効回答数（件）	障がい者の雇用促進	相談窓口や相談指導をする体制の充実	生活介護（デイサービス）などの充実	短期入所（ショートステイ）などの充実	専門的機能回復訓練などのリハビリテーションの充実	専門機関での医師や専門家による病気の治療やカウンセリングの充実	更生施設などの入所できる施設の整備	地域での日常生活や社会復帰の相談や助言などを行う支援センターの整備
身体障がい者	645	27.1	18.6	13.5	6.2	17.1			
知的障がい者	249	27.3	15.3	16.9	21.7	2.8		9.6	
精神障がい者	236	30.5	17.8	17.8	5.5		28.4		11.9
障がい児	188	42.0	22.3	20.2	10.1	15.4			

	軽作業を中心とした仕事を行う施設	家事や介助のためのホームヘルパーの派遣	外出時の付き添いのためのガイドヘルパーの充実	障がい者向けの公営住宅の整備	賃貸住宅への入居の支援（保証人がいない場合など）	グループホーム・ケアホームなどの確保	公共施設のバリアフリー化の推進	交通機関の充実や移動支援の充実	授産施設などの福祉的な仕事の場の整備・充実
身体障がい者		14.1	6.7	22.5	13.3		18.4	25.1	1.2
知的障がい者		10.4	11.2	17.7	8.4	27.3		17.7	11.6
精神障がい者	11.9	12.7		15.3	14.0	4.2		17.4	
障がい児		2.7	8.5	9.6	4.8	19.1	6.4	13.8	21.3

表 今後、充実したほうがよい障がい者の施策（その2）

単位：割合（％）

	住宅改修補助制度などの充実	スポーツ・文化・レクリエーション活動の支援	療護施設や福祉ホームなど入所できる施設の整備	入所又は通所して社会復帰のための日常生活訓練を受ける施設の整備	障がい児の療育の場の整備・充実	障がい者の情報提供の充実	学校と関係機関の連携の強化	高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設の整備	家族会や患者会の組織化と活動の充実
身体障がい者	15.7	6.0	9.5		2.3	11.0	2.0	43.1	
知的障がい者		6.8			7.2	14.5	0.8	39.4	
精神障がい者				6.8		15.7	0.4		4.7
障がい児	5.3	8.5	11.2		42.0	13.8	31.9	16.0	

	地域の人との交流の場の充実	災害や具合が悪くなったときなど緊急時の支援体制の充実	障がい者の理解に関する社会啓発の促進	その他	わからない	無回答
身体障がい者	4.0	26.2	15.5	2.0	4.7	10.9
知的障がい者	4.8	21.3	20.1	2.4	8.4	10.8
精神障がい者	4.7	15.7	24.6	6.8	14.0	8.5
障がい児	6.4	16.5	33.5	2.7	2.1	10.6